

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 元奥羽大学大学院咬合機能修復学教授 嶋倉 道郎
- 2 . 演 題 チタンを歯科治療に応用するために
- 3 . 日 時 平成24年10月11日(木)
17時00分 ~ 18時30分
- 4 . 場 所 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)
- 5 . 内 容

チタンは安価で生体親和性に優れることから、従来の貴金属合金に代わる歯科用金属として期待されている。チタンは資源として地球上に豊富に存在する元素であり、他にも腐食されにくい、比重が小さい、比強度が高い、安定した酸化被膜を介してレジンと接着しやすいといった歯科用金属として適した特長を有している。このチタンを補綴領域でクラウン、ブリッジあるいは金属床フレームの材料として使用することが以前から試みられているが、インプラントほどには普及していない。その原因の第一は、貴金属合金に比べると鑄造や研削といった加工が難しいことにあると思われる。そこで今回は、チタンの特長を生かした歯科への応用法として、どのようなことに着目すればよいのか考えてみたい。

連絡先 摂食機能保存学分野 三浦 宏之(岡田 大蔵)(内線 5521)